

総務常任委員会

平成25年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定 (議案第40号)

問 埼玉県で宮代町と1位を争っている「ふるさと納税」だが、平成25年度の支出内容は。

答 ふるさと納税記念品として平成25年度の幸手産コシヒカリの新米15キロを精米し、発送している。平成25年度記念品支出として1861個発送(平成25年度総額は2067件あるが平成26年1月～3月分は平成26年度対応)し、記念品費として837万4500円、発送費は135万4715円である。

問 基金積立金として、いくらなるのか。

答 財政調整基金、減債基金、その他の特定目的基金、定額運用基金等全ての総額で平成25年度末、30億3301万9千円となる。

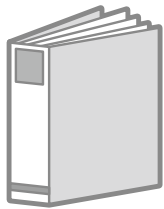
問 公債費について、前年より減

少しているが、積立基金は増えなお金があれば償還してはどうか。

答 借り入れ自体は、近年低利なものを行っている。繰上償還については、期間や繰上償還に制限があり、金利が3.5%、4%などのももあるが、金額も大きくなく、あと数年で解消していくものと考えている。

問 監査の結果によると、執行率が3.3%下がり、90.3%となっている。執行率に対する財政課の評価はどう考えているのか。

答 執行率90.3%という数字からすると良い評価ではないと考えている。しかし、執行率の求め方自体が、現計予算から歳出執行額より求められる形となっており、平成25年度は繰り越しが約9億円もあり繰り越し額が大きくなれば、執行率が下がらざるを得ない。



平成26年度幸手市一般会計補正予算(第2号) (議案第61号)

問 クラウド事業およびペイジー事業の内容は。

答 現在の税や使用料等の口座振替については、庁内でデータをフロッピーディスクに落とし、職員が市内の各金融機関を訪問し、フロッピーディスクを預け、その後、口座振替され書き換えられたものを回収している。これは職務の効率性からもセキュリティ上からも問題があると考え、電信で全てやりとりを行うクラウド口座振替取りまとめサービスを導入するもの。

問 ペイジー口座振替受付サービスについては、現在、金融機関に出向いて紙ベースにて口座振替の申請をしているが、導入後は市役所等にキャッシュカードの読み取り機を設置し、暗証番号を入力してもらいだけで口座振替の申請受付ができるというもの。

問 クラウド事業およびペイジー事業の事業費はいくらか。

答 クラウド口座振替取りまとめ

サービス業務委託料は41万9千円。ペイジー口座振替受付サービス業務委託料として約347万円で県補助金は約152万7千円が見込まれる。

問 補正予算約12億円のうち、9億1千円が基金積立、その考え方は。

答 財源は繰越金、地方交付税などの決定したことによるもので歳出としては各課から要求を受け、ある程度事業を振り分けた上で、残額を大規模事業に備えた形で積み立てたもの。

問 子育て応援基金3億円の目的は。

答 基金の上限はまだ見込みがついていないが、今回の補正予算で学童保育室の設計、第2保育所の基本設定をしていく中で、建設事業に係る財源が見込めたところで、ソフト面の事業をどのように展開していくか形になっていく。その時点で積み立てがどのくらい必要か見えてくるものと考えている。



文教厚生常任委員会

平成25年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定
(議案第40号)

問 交通安全対策費の中の報酬で交通指導員の報酬が428万4800円になっており、前年比8万3200円減になった理由は。

答 交通指導、立哨関係を行っているが、市民まつり、夏祭りといった特別勤務関係等の回数が少なくなった。

問 災害見舞金24万円が支出されているが、災害見舞金の内容は。

答 平成25年度は合計で支出案件が4件あり、そのうち全焼が2件、浸水が2件、合計24万円、単価は全焼10万円、床上浸水の場合が2万円。

問 保健福祉総合センターの床メソテナンス方式で、平成17年から約10年経つが、レンタル方式で良かったのか。

答 過去の書類などを確認すると、毎年、委託料として5%下がっていき、床タイルが傷んだ場合にはすぐ差し替えられるなど多くのメリットがあるということでした。レンタル方式を選んで良かった。

平成25年度幸手市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
(議案第41号)

問 歳入決算額が80億1881万9513円、歳出が75億374万6963円で、国保税、保険税収入を見ると、前年度と比べて減になった理由は。

答 平成24年度の現年調定額が16億3416万3100円で、平成25年度の現年調定額が16億978万3800円で約6.9%減少している。



幸手市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
(議案第50号)

問 この条例は子育て関連3法で新しい国の動きの中で決まったものと聞いている。幸手市には該当する事業者は現在無いが、今後対象として可能性はあるか。

答 可能性はあると思う。この条例は0歳から2歳が対象なので、これから立ち上げようとしているかもしれない。

幸手市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
(議案第51号)

問 認定こども園の保護者の捉え方、市民の捉え方、私立保育園と違った認定こども園の位置を聞く。

答 認定こども園は、幼稚園型と保育園型と有り、新制度では認可保育所と認定幼稚園を組み合わせたいものと考えていただきたい。

幸手市子育て応援基金条例
(議案第53号)

問 この応援基金は子育て支援を積極的に進めるための基金であるとしているが、第2保育所などハード面の建物の件であれば、公共施設整備基金で賄えるのでは。

答 この基金を創設する目的は、条例第1条にあるが、市の子育て事業を発展させるため、ハード事業とソフト事業を一体的に展開したいことから、一般財源では事業予算を継続的に担保することが困難と判断し創設した。

幸手市立図書館条例の一部を改正する条例
(議案第54号)

問 図書館を指定管理者制度に適合するため条例の改正を目的としたものであるが、指定管理者制度とすることで市民に対してどのようなメリットがあるのか。

答 基本的に指定管理者制度を導入することによって経費の削減を含む効率的な運営と市民サービスの向上が考えられる。図書館は利

建設経済常任委員会

益を生む施設ではないので、経費の削減に重点を置くとサービス低下につながる可能性があることから、

ら、現状の経費でいかにサービスを向上させるかという点を視点に導入を進めていきたい。

築造基礎工事、沈砂池のポンプ棟耐震補強工事、水処理施設設計業務等である。

答 全国規模の4大会のうち、2か所を中途に参加を考慮しており、中部国際空港で開催される大会に初参加をするための負担金である。

平成25年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定 (議案第40号)

問 特産品(幸手ブランド)販売促進業務委託料の内容は。

答 幸手市のお米を主とした特産品をつくるために特別栽培米を農協に委託して栽培している。粒がそろい、食味値の高いものをプレミアム米とし、農家の方の収入を増やすことを目的としている。

問 商店会の街路灯の点灯および消灯の設定・操作は。

答 街路灯にはセンサーがついており、一定の明るさで自動的に点灯・消灯する機能になっている。誤作動等も含め、点灯したままの情報が入った際には、市役所または商工会から管理している各環境整備組合に連絡し、修理をお願い

いしている。

問 関東国道協会負担金4万円は定額か。

答 1都8県320市町村が加入しており、規約により市は4万円となる。

平成25年度幸手市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 (議案第45号)

問 中川流域下水道事業負担金の増額理由は。

答 この事業は15市町で運営されており、平成25年度は新規事業が増えたことで増額となった。

問 新規事業の内容は。

答 三郷市にある中川流域下水道の処理場の第2沈殿池ポンプ棟の

平成25年度幸手市水道事業会計決算の認定 (議案第46号)

問 逆ざやの解消は。

答 出来る限り逆ざやを少なく、かつ無くなるのが理想と考えているが、給水収益については使用水量が減ってきているため上がる見込みはない。給水原価を下げるために、総費用をできるだけ小さく抑えるよう切り詰めているが、電気料の値上げや資材単価の高騰等により、厳しい状況にある。

平成26年度幸手市一般会計補正予算(第2号) (議案第61号)

問 北1丁目地内水路蓋掛工事は。

答 当初予算に計上していたが、工事区間延長の追加要望に応える工事である。

問 ゆるキャラグランプリの参加負担金の内容は。

答 市道は1級が26路線2万5740・5メートル、2級が20路線2万856・4メートルある。農道を含めたその他の道路が46万7792・9メートルあり、いずれも市道として管理をしている。

平成26年度幸手市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)(議案第66号)

問 雨水浸水対策調査業務委託料の内容は。

答 100ミリ安心プランへの申請を目標に、埼玉県と河川・下水道事業調整協議会を組織しており、何ミリ降ったら何センチ浸水するかを明らかにする必要から水路幅や地盤の高さを調査するもの。